

शिखागोविश्वविद्यालये

प्रारम्भिकसंस्कृतम्

FIRST-YEAR SANSKRIT

AT THE UNIVERSITY OF CHICAGO



अल्लटाचार्योद्धावितः पाठऋमः 🎇 Designed by Andrew Ollett



THE K-Y-T SERIES

kimyattatah



किंयत्ततः





PRONOUNS

Etymologically, a pronoun is a word that "stands in for" (*pro*) another noun. We can think of them as nominal forms that have a *reference* but no *sense*: they refer to something, but the word itself will not tell you what that something is.

We saw him.

She didn't see anyone.

Everyone was there.





PRONOUNS

We'll talk about **four** kinds of pronouns right now:

- demonstrative (e.g., this, that)
- interrogative (e.g., who?, what? which?)
- indefinite
 (e.g., someone, something)
- relative (e.g., that, which, whom)





PRONOUNS

In Sanskrit, these forms make up a single **system**, so we can introduce them all at once.

This system will also unlock a huge domain of Sanskrit syntax, since you will now be able to understand **interrogative** sentence and **relative** clauses.





The basic demonstrative in Sanskrit is tad.

NOTE: I will cite these forms as the Indian grammatical tradition does, which is the neuter singular nominative/accusative. The full declension will be given later.





The basic demonstrative in Sanskrit is tad.

NOTE: I will cite these forms as the Indian grammatical tradition does, which is the neuter singular nominative/accusative. The full declension will be given later.

This can be used both on its own (as a pronoun):

tat · paśyāmi → "I see that."





The basic demonstrative in Sanskrit is tad.

NOTE: I will cite these forms as the Indian grammatical tradition does, which is the neuter singular nominative/accusative. The full declension will be given later.

This can be used both on its own (as a pronoun):

tat · paśyāmi → "I see that."

As well as to qualify another noun (as a determiner/adjective):

tat · pustakam · paśyāmi → "I see that book."





The pronoun *tad* is generally used to refer to something that the listener is expected to be able to identify.

It is often used as a "third person pronoun," contrasting with the first (asmad) and second (yuşmad) persons.

In terms of its *deixis*, or manner of reference, it is non-proximate and non-distal, so it contrasts with *adaḥ* ("that over there") and even more strongly with *idam* ("this over here").



	600	3
- AN	A PARTY	1-0
35	1	D.
1		1
1.3	100	# # 23
M	Continues)	
団ア	300	arge 3
136	1. 1	#4
145	1111	A SECTION
州鸭	-	SF 4
W	Same.	Teach.
134.4	The same	100
(月) 畫	- 7	
13		
指数	of Marketine	1
10	The same of	45/1/1
	201	-
MX		
D. ~		
7	0	
#早		250
10	100	
1/2	3116	
The	罗列州 图0章	1
18	111	63 A
EAV.		1/2
	(E)	
-		W.
司軍		a elli
P2.E		51NE
E7.1	第一篇	37///
-		3311
*		3 311
1997	A	
teu s		
12	- 27	3
9.0		
1 9 1		
2 4 4 5		
		シングライル
		う。のである
		かくろうでも
		とうのである。
		リシーのである。

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tḗ (m.), tā́ni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (III.), te (II.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>tr̞tīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
caturthī (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	tébhyah
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		lebilyalı
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	távōh	tḗṣām
saptamī (7 th)	tásmin	táyōḥ	tḗṣu

Declension of tad "that" in masculine and neuter



tate >
200
PA TON
- Summing Children
型 人名英西西西西西西西西西西
HE TO THE TOTAL OF THE TOTAL O
W. Comment
W.
THE PLANT
1.1
CVALLED
会の対別を制度を
76///
THE RESERVE TO SERVE THE PARTY OF THE PARTY
AG. BOY
() [[] []
Greet Philipsell The Control of
and the second
= 100 m
E WY A
The state of the s
A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH
CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE
The state of the s
to be a second and the state of
The state of
3
1
/ 医部部
188
1
Carlot Share
The state of the s

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sấ	té	tấḥ
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tấm	i C	ιαι
<i>trtīyā</i> (3 rd) instrumental	táyā		tấbhiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásyai	tấbhyām	tấbhyah
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásyāḥ		tabriyan
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	iasyai	táyōḥ	tấsām
saptamī (7 th) locative	tásyām	ιαγοι	tāsu

Declension of tad "that" in feminine



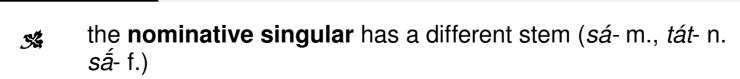


This is like the paradigm of stems in a and \bar{a} , but with a few important differences:



٠,	d	04	-	3	h
à	剑		4	1	ė
P	3	7		B	
Z	77	10		39	è
7	4		1	til.	
1,		2.30		11	É
1	9			ø	
ŧ.		-		1000	ř
V,	7	-	4	Œ.,	4
W.			\sim	18	200
31	A	-2	3	10.3	۵
۱	\$ *	1	2	MA.	ľ
Þ	×		MIS	K	۲
V			-	-3/	١
	24	-19		~	١
ÿ,	D	30	郭/	\gg	9
2	20	1	奖	渔	Š
'景	T	V_{d}		3	į
Ē	Ð	m_2		-	ن
2	V	14	3		ż
	7//	1	-	63	6
ΒÌ	W.	-		S	2
ź.	35	13	W	30.	4
J	N.	18	34	20	Ē
3	Α.		F	40	١
1	r.			B	ì
Z.	A	e.			V
五	13	1			۸
Sh.		E	77	⋜	è
6 6 6			7	2	
0.0					
が大きずり			7	いというと	
村 が 大 かりか					
一年 がんない					
三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二					
というというという					
というながら			が一個の一人		
のというとは、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一					
とは、大学の一					
のは、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	言語を見いる。	として			
これでは できる これのこと	言語があい。			のでする	
というというというというというというというというというというというというというと	言語のいる。				The second second
の一年の一日の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	言語が回ばる。「ころだった」				
上 の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	きるがある。				
三年 一年	きるがある。				
日本の一人の一大学の大学の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	一名があれていた。				
と 一		るしい。		アデータのオートルージ	
というというできませんがあるというできた。				シアをシストイン	
というないというできませんという	きるがある。			アシアのシャーション	
はいるがは、これは、これは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、	きるがあれることが			子を含めずると	
というないというというというというというというというというというというというというという	きるがある。	ころは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに		ルトシアをジボートが一	
のできない。	言語が記るという。	ること		がかシアをひがいよること	
はいる。「は、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」というでは、「は、」	言語が記録を	されている。		りとうでのストン	
の一般は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	を記していく	うしい。		いりとうでのスプーグ	
は一般は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一		うしい。		と かんしき とう できない はんしん	

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tḗ (m.), tāni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (III.), te (II.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>tr̥tīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	tébhyah
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		lebilyan
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	táyōh	tḗṣām
saptamī (7 th) locative	tásmin	layon	tḗṣu





1	16	20		2.0
a	4		. 9	والحج
39	3	12	76	Ť
- 2	딖	I.S	\mathfrak{I}	200
1.1	1	1	49	₹2.
d.	3.79	UNUL:	प्रतिक्ष	皇
型?	10		99	U
1	ar.			4
福	- 8		100	907
A.	25	-	3	-4
AD.	Ø			63
314	1	44		Ø
쉡	Hig.	1	1	2
4	Δá	S.		الهاذ
130	3	Serv.	1	\mathbf{N}
	P 100		-	W
Ų.	44	13		1
X	m+			
\$	0	a	186	4
βĒ	Ω.	12		
E	7.3	100		স্থ
	E) I	10	1	جد
-12	W.	#418		-
7.5	111	200	200	
SA N	(JP	6	986	
3		優	N.	1
	1	SA	N M	
e l'			≥ €	
4 3				٧Ē
		101		1/2
=	1	257		M
亍	3	~	4	H
V	400	2		2 V
254	-		/ /	-A.1
			TO	3
90			0	
100				
三年 一方				
世人 東京市				
国村が大阪部				
はないというという				
の間を対ける。		S		
点によびは見る		S		
名は大学は一般の		STOR		
のは、大学は一般のでは、大学の		と		
品語を対けると言うと言う				
品等を対けるというがある。				
品を対けている。		と「り」		
山地を分けると		という。		
山地である。				
国際では、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	を 「			こうでは、
単語を対するという。	を を を を を を を を を を	るでは、		
自然を発生している。	を を を を を を を を を を	る「し」		言っている。
世界 一人 一大	を 1回に 回 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	るするよう		言のできるからい
画法を発生している。「日本の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界の一世界	を 1 回り 1 回	されるよう		
画法とは、大学では、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学に				言っている。
は、一般は、一般は、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、				ランドのアイグラング
世界の代替のでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学		というと		アノアルがある。
単一がは、「大学」と		とうしく		ラントラルが高いと
当時では、「大学」とは、「大学」というという。	を で			言うというがある。
当時の対象を対象を表現している。			のからを含むしいの	にフノーの人が影響すること
単一 では 一		るでは、そう人では、		アノラルで語りで
されていた。「大き」と		をすると		言うというと
以 が は できない は できない とう できない かんしょう しゅうしゅう しゅう		るでは、		こうとのが影響すること

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
prathamā (1 st) nominative	sấ	tḗ	tấḥ
dvitīyā (2 nd) accusative	tấm	ie	ιαιι
<i>trtīyā</i> (3 rd) instrumental	táyā		tấbhiḥ
caturthī (4 th) dative	tásyai	tấbhyām	tấbhyah
pañcamī (5 th) ablative	tásyāḥ		tabriyan
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	ιασγαι	táyōḥ	tā́sām
saptamī (7 th) locative	tásyām	layon	tāsu

the **nominative singular** has a different stem (*sá-* m., *tát-* n. $s\tilde{a}$ - f.)



	٠,	di	200	-	2
	À		M	ان	
	æ,	2	76	7	1
	4	7	1	A_{ij}	
	d.	-	unui	DE LINE	۱į
	翼:	-13	3	99	v
	3	Paris	144		
	事	50	-	S	
	ďγ	~	-	7	
	₹4		4	1	K
	41	1	1	\mathcal{I}^{n}	ġ,
	à	€4		ાક	4
	1		-	1	11
	j).	34	13		1
	X.	II+	2		
	5	2		192	
	" " "		Vŝ	3	34
	Ē	Ð	100	1	- 26
	싎	M	FALS		€,
	1.5		1		D
	ile I	U.		V.	12
	6			Y	6
	id)			Ьŧ	N.
	e,		ā.		ΝĒ
	in,	N	338	34	N.
	-	3		1	311
	4	جاتني	7	77	ä١
	54	-		7	
	uid ded			TO	
C ZZZ V					

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tế (m.), tấni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (III.), te (II.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>tr̞tīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	t <mark>é</mark> bhyah
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		lebiiyaii
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	táyōḥ	tḗṣām
saptamī (7 th) locative	tásmin	layon	tḗṣu

the masculine nominative plural has an ending \bar{e} , which also appears before the dat./abl. and gen. plural endings

	A.	000		i.
À		М	_/	8
•	2	7.6	$ u_{k}$	Þ.
18	170	1	11	*
4		mining.		d
1	9	1		P
電		>	1	ø
Ł	2	-	3	ú
₩,	6	-		ě
d	N.			Ç
4	Q.	1	7	d
1	2	-	F	V
ď.	44	13		¥
y.	D	13		9
ě	20		22	
	E	16		5
x		16		Ś
76	21)		-	
				1/2
Z	*	運	洲	Z
J			1	ī
7	d.			V)
es.	K			8
5	3/		1	Ŋ
5	4			۹
101.0				
100.00				
一門				
一年 一年 一日				
11日本人工 11日の日				
一日 一				
このはこれはこと				
では、一個人は大学を				The same
は、たい、人間は一年が大きにあった				
の一個などのは、	品を開発した。			
一人の大学をはないというできた。	当の記述を	多でのよ		
一品を大き	当の記憶を			
では、大学は大学の大学は大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	当人の一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一人が一			
一点には、大は一個では、大きでは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きの	当人の記憶は、			
兵衛等が発性を持ている。一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	当人では、他は、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には	るでは、多く		
は一個などのは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大		るでは、タット		
では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に		るでは、アンバーター		
中国は一般が一般である。	一番が回いのエストー	るいのと		
では、大きないできょうと	当然が通過である。	るいのと		としている。
では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学		されのリーペングでは		
では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に		とすると		
一品の一人は一人では、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	生を禁めるのは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	るいのと、タッパーのい		

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tḗ (m.), tāni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (iii.), te (ii.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>tṛtīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	tḗbhyaḥ
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		lebilyan
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	táyōḥ	tḗṣām
saptamī (7 th) locative	tásmin	layoiji	tḗṣu

the augment -sm- in the dat.-abl.-loc. of the masc./neut., and -sy- in the dat.-abl./gen.-loc. of the fem.

	16	26	>-	3	
à	الزونة		١.	10	9
(3)	3	7		<u>~</u>	
3.3	を	410		1	8
	-	-	3	1	É
图 :	-	mining.	11,411		Ŧ
1	0	1		P	2
镭	- 1	-		No.	7
彻	70	-	S	٠.	d
10	6				39
131	N	4	7	خازك	₹
围	劉 治	1	$\overline{\mathcal{F}}$	W.	3
播	₹3		und	11	4
		-	_4	2//	١
10		10		-41	Ş.
EX.	TH	12		-	b
10			12		3
門	74	V	3		삨
10	I	6			3
34	S	1/20	3	d	7
76	9/1		1	3	7
100	111				2
	1	传	30	W	2
	X A		100	W	
4	U -1	8			3
野	64		重	U	ķ.
100	T		7	31	Ä
1	53		≥ 1	3)	n
2	4		$\overline{}$	-	Ŋ
June 1				\geq	•
		HILLER	III COLI	THE REAL PROPERTY.	á
	Medi	-	65	20	7
123		(ii			2
2			Time:	Z	ă
2.3	10 m	r a	7	\mathbf{r}	髎
	93	1	1.	L	L.
10	(U)	È	\Rightarrow	덪	H
N	-	1		1.0	3
100	dillo		\sim	Mile.	₹
=g	-	OR FEE			Z
3	Z=			χ_{s}	á
2		≫	~	4/1	3
34	the		14		
	9 h	-	_	v	ż
	550	64	0	k. "	7
100	1	3	- 79	2	•
=	30	13	d	~	ď
F.	•	35	M F		,
1	- 68	2000	10		-
10	20	1	1	100	9
1	2010	in the		K	
1	. 21		14	1	X
13	EC.	写	1	K/N	1
12		20	17	3/	
	100	4		1	Ĵ
	1	162.00	_	الأفتال	

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sấ	té	tấh
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tấm	ic	ιαή
<i>trtīyā</i> (3 rd) instrumental	táyā		tấbhiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásyai	tấbhyām	tấbhyaḥ
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásyāḥ		
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	iasyaiji	távāh	tấsām
saptamī (7 th) locative	tásyām	táyōḥ	tấsu

the augment -sm- in the dat.-abl.-loc. of the masc./neut., and - sy- in the dat.-abl./gen.-loc. of the fem.

1	10500	. 2
		MEX TO
	MINUST.	11
	K	P
	THE STATE OF	(All the last
Vá		3
	1	
3		100
		211
M		
(1)	VĚ	
	100	
-211		
	A	
		115
		M
1		
	1	
	6	
	Militarian,	
-		
		M 1
		18
	16	
1	Miles	
	9	11
16	14	
	Aug.	
= 9	1	% \
	esen.	100
3	1	100
1		ME
1		沙湾
3		
1	1	- 39

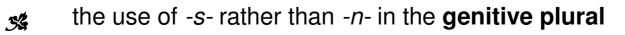
	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tế (m.), tấni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (III.), te (II.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>trtīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	tḗbhyaḥ
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	táyōh	tḗṣām
saptamī (7 th) locative	tásmin	layon	tḗṣu





	16	260		b
á	فالكك		· *3	
3	B	1	76	- 3
	穝		\mathbf{n}	III. 18: 19:40
1.3	1	1	47	*
100	-	UNID.	-	F
围:	13		-	2
13	0	1	. 1	-
讍		1964		68
州	5.	-	SF	- 4
1 Av	-	-	×.	-2
134	g S	-	0	6
(21)	1,-	-7	44	\sim
13	製 (さ	1	$T_{\mu\nu}$	
P.	3 49		П.	ď.
語	1		E	N
- 1	200	3.7	-6	n
140		-13	90	
D^{k}	T	(図)	1/2	94
4			1992	1/1
师葛	7/1	1/4	3 19	SE.
. 3	2.3	100	1	্যন্ত
14	ω	100	1	كالا
45				~
17.	111	200	1	i
100	1111		1	14
13	40	PAR.	ALE:	12
16		570	y W	1
100	對唱		Ьě	1
3			-//	VΕ
53	₩.			73
100	1		4	M
100	1/3		-	711.
127	جاني			s١
16.00	Sec.	D	-	2/
jed.		1		=
200	adit.	HILLIAN	CHR III	grant.
-	No.	91	5	
158	1	< #¥	6M	
1				84
5.0	gr es	No.	me.	唐
	28	7.00%	-+9	
1	-		4	24
10.5	Will.	3		50
N		. 14	\mathbb{N}	Æ
100	HT.		≤ 1	63
2	Change	HILITER	140.00	90.5
	-20	翔即	** *	π.
		50	20	λЗ
2	4	€		7
34	110	1	1	2
5-3	Silt.	7	10	إراحا
		K at	KA.	-
12	22	100	1	۱.
15	3	A	7.0	•
1	경험	1.6	Æ	1
19.		25	13	١,
1	1.14	adi.	100	1
13	1	-	1. 1	, 9
130		1	3	is
11.0		-	100	k.
报	. 23	-	1	1
13	60		N.A.	1/1
12	1	12	SE-	//警
	8	在多	1	1
	1	1		29
		-	-	-

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sáḥ (m.), tát (n.)	táu (m.), tḗ (n.)	tḗ (m.), tāni (n.)
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tám (m.), tát (n.)	tau (III.), te (II.)	tấn (m.), tấni (n.)
<i>tr̞tīyā</i> (3 rd) instrumental	tḗna		táiḥ
<i>caturthī</i> (4 th) dative	tásmai	tấbhyām	tḗbhyaḥ
<i>pañcamī</i> (5 th) ablative	tásmāt		
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	tásya	táyōḥ	tḗṣām
saptamī (7 th) locative	tásmin	layon	tḗṣu





	dil	1		32
A	97 "		-	
	2	7.6		
13	1	1	4	*2
8		muz:	CH2	Ē
	0	A.	200	₽2
犥		1184		
T.	73	-	3	4
W				7
31	1.	1	94	\approx
E	16	Æ,	-	1
饟	3	200	**	11
		340	-	MI
N.				
18	H	1	160	1
15	7.1	12		
- 7	IJ	100		~ 3
34	S		1	I s
7.6	911		-	
	\mathscr{U}^{p}			12
1		漂	73	
3				
3				VE.
(m)	1		34	M
匾	10			16
(e)	1	7	-	a ()
(Sept.			10	
		HHHE	ESULU	HIDDE.
91	-	- 97		0
1	0			
A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	\sim		150	\ll_{i}
	2		-+	1
	rosi.	200	-	齫
	と	T.		78
	IT			100
= p	(3)artite	HIII J/(III	24(1)(2)	00.0
4	4		P	1
-		₹		J/J
辩	ili	_ ,	\	3
	N.	6	× '	3
	22	60	Ö	h 4
13		A	16	9
1	무급	\$ P	(3)	.)
7	- 10	-486	10	∿
15	20	755	1	, J
100	200	ú.		<u> </u>
温	.2	0	12	/
13	60	(3)	1.1	1
1	4		1	1/12
1	16.30		75	29
	-			

3%

	<i>ēkavacanam</i> singular	<i>dvivacanam</i> dual	<i>bahuvacanam</i> plural	
<i>prathamā</i> (1 st) nominative	sấ	té	tấh	
<i>dvitīyā</i> (2 nd) accusative	tấm	ie	laii	
<i>trtīyā</i> (3 rd) instrumental	táyā		tấbhiḥ	
caturthī (4 th) dative	tásyai	tấbhyām	tấbhyaḥ	
pañcamī (5 th) ablative	tásyāḥ			
<i>ṣaṣṭhī</i> (6 th) genitive	iasyan	táyōḥ	tấsām	
saptamī (7 th) locative	tásyām	ιαγοι	tāsu	

the use of -s- rather than -n- in the **genitive plural**





On the model of $t\acute{a}t$, you can form another demonstrative **simply by prefixing \bar{e}** to the forms of $t\acute{a}t$. This \bar{e} element adds *proximal deixis* ("this" rather than "that").

ēṣáḥ this (m.)

ētát this (n.)

ēsā this (f.)





The **use** of *tát* and *ētát* is straightforward, because the English words *that* (etymologically related to *tát*) and *this* are used in almost exactly the same way. They can also be used in the sense of "he," "she," or "it."

Note the use of tád éva "that very one" to mean "the same."

api · saḥ · rāmaḥ

sah · ēva

"Is that Rāma?"

"The very same."





Relative clauses are clausal modifiers of something in a sentence.

The monk boarded the ship.





Relative clauses are clausal modifiers of something in a sentence.

The old monk boarded the ship.

[adjectival modifier]





Relative clauses are clausal modifiers of something in a sentence.

The monk, having just arrived at the port, boarded the ship.

[participial modifier]





Relative clauses are clausal modifiers of something in a sentence.

The monk who stole the manuscript boarded the ship.

[relative clause!]





Relative constructions involve:

- a **relative pronoun** in the relative clause
- an **antecedent** in the main (matrix) clause to which the relative pronoun refers

[antecedent] [relative pronoun]

The monk who stole the manuscript boarded the ship.





In Sanskrit, these constructions are often called "relative-correlative" constructions, because the word referred to by the relative clause is almost always expressed with a "correlative" demonstrative form (usually *tát*):

[relative]

yēna · bhikṣuṇā · pustakam · hṛtam · saḥ · nāvam · ārūḍhaḥ ·

[correlative]





Note that while the relative and correlative forms will typically have the same **number** and **gender** (because they refer to the same thing), their **case** will depend on the role that each word plays within its respective clause.

[relative]

yēna · bhikṣuṇā · pustakam · hṛtam · saḥ · nāvam · ārūḍhaḥ ·

[correlative]





The declension of relative pronouns is **exactly the same** as for *tát*, except that the forms begin with *y*-instead of *t*-.





INTERROGATIVES

Interrogatives are question words. In Sanskrit they are formed from a base in *k*-, conventionally called *kim* (once again, the same as the neuter nominative/accusative singular).





INTERROGATIVES

The declension is **exactly the same** as for $t\acute{a}t$, except that the forms begin with k- instead of t-, and:

the neuter **nominative**/accusative singular is *kím*.

kim · icchasi ·

"What do you want?"

sah · kah ·

"Who is he?"

kasya · sā · putrī

"Whose daughter is she?"





INDEFINITES

An indefinite pronoun conveys that its referent cannot be further specified (or the speaker is not in a position to further specify it). English examples include **some** and **any**.





INDEFINITES

Sanskrit forms indefinite pronouns by adding the particles *cit*, *ápi*, or *cana* onto the interrogative forms:

kiñcit / kiṁcit kim api kiñcana / kiṁcana

something, anything

kaścit ~ kācit kō 'pi ~ kāpi kaścana / kācana

someone, anyone (m.) ~

someone, anyone (f.)





INDEFINITES

These indefinite forms are often used as **negative polarity terms** (like English "at all"):

na kiñcit

nothing

na kaścit

no-one





The demonstrative, relative, and interrogative functions are found across a wide range of forms, including adjectives:

tādrsáh / tādrk a person of such a kind

yādṛśaḥ / yādṛk which kind of person...

kīdṛśaḥ / kīdṛk what kind of person?





The demonstrative, relative, and interrogative functions are found across a wide range of forms, including adjectives:

tāvat

so much

yāvat

as much

kiyat

how much?





And indeclinable adverbs:

tatra there

yatra where

kutra? where?





And indeclinable adverbs:

tadā then

yadā when

kadā when?





And indeclinable adverbs:

tathā

yathā

katham

in such a way

in which way

in which way? how?





OTHER PRONOUNS

The forms we've just covered (*tát*, *ētát*, *yát*, *kím*) are called *sarvanāmá* in traditional Sanskrit grammar. This category (often called "pronouns") includes about two dozen nominal stems. Those that end in *a* are declined like the *k-y-t* series, for instance:





OTHER PRONOUNS

sarvá- all, every sarvé masc.nom.pl.

anyá- other anyát neut.nom./acc.sg.

ítara- other, else ítarasmai masc./neut.dat.sg.

éka- one, some ékasmin masc./neut.loc.sg.

Only *anyát* takes *t* in the neuter nom./acc. sg. The others take the regular ending *m*.



